

鷹栖（9月1日）

地域を語る 報告紙

開かれた議会を目指し

北野（8月27日）

地域を語る会

鷹栖町議会では平成27年8月24日から平成27年9月1日にかけて、町内5地区で「地域を語る会」を開催しました。

会には延べ39名の皆さまに参加していただき、議会や行政に対して、貴重なご意見やまちづくりに対する質問・提言を多数いただきました。議会に対するご意見は会場でお答えをしましたが、行政に対する質問等は議会に取りまとめ、行政に提出し回答を得ました。

本紙では、議会に関するものと行政に関するものに分類し、皆さまにお知らせいたします。

出席者数

会場・団体名	開催日	開催時間	出席者数
中央地区住民センター	H27/8/24(月)	午後 7時～ 8時30分	10
北成地区住民センター	H27/8/26(水)		7
北野地区住民センター	H27/8/27(木)		7
北斗地区住民センター	H27/8/28(金)		9
鷹栖地区住民センター	H27/9/1(火)		6
合 計			39

議会のこぼれ

●議会は、安保法案にどう対応したのか。

A. 7月の臨時議会で、国民への理解を深めるため、慎重審議を求める内容の意見書を議員の総意により提出しました。提出先は、衆参両院議長、内閣総理大臣、防衛大臣です。

●高齢化や担い手不足で地域社会が支えきれなくなりつつある中で、地域を支える組織を議員としてどう考えるか。

A. 町内会単位から地区単位へと変わっていかざるを得ない中で、町や社協がどう役割を果たすか、議会としてどう関わっていくのか、積極的に行動していかなければならないと考えています。

町は、地域住民が主役となる助け合い・支え合いによる新たな仕組みづくりを目指し、平成26年3月に策定した「お互い様づくり行動計画」に基づき、社会福祉協議会や地域、関係機関と連携し取り組んでいます。

●小中学生が議会を傍聴した経緯は。今後も続けるのか。

A. 教育委員会を通じて小中学校に申し入れをしました。今後も継続していきたいと考えています。

●議員定数についての考えはまとまったのか。

A. 平成27年第4回定例会で「議員定数等調査特別委員会」を設置しました。6名の委員で約2年をかけて議論します。

●議会定例会を夜間や休日開催する考えは。

A. 具体的に協議はしていませんが、一般質問だけなら開催は可能と考えています。

●今回の水害は避難者もいるが、数年に渡り被害があり、国に強く要望してほしい。

また、議員が早急に現場を確認し強く働きかけるべきではないか。

A. 経済福祉所管事務調査で現地確認はしたが、災害被害の場合、議会としては行政担当部署と連携し、早期に復旧できるように要望していきます。

●議員の政治信条などから選挙がないから出ないのか。

議員は身近にいるのか。出来るだけ地域に出て声を

届けてほしい。

A. 5地区それぞれから議員が出ていますし、地域に出向き話も聞いています。語ろう会も今年で8回目、まだまだ足りないかもしれないませんが、少しずつ内容を深めていきたいと思っています。

修工事はいつ始まるのか。

A. 9月定例会で工事費の補正をして補修工事を実施しています。農地へ立ち入りが必要な箇所については、積雪後の着手を予定しています。(建設水道課)

町は樹木の伐採作業を実施します。(建設水道課)

●用水に架かっている私設の橋も損壊している。その復旧も要望したい。

A. 橋を選別して復旧していく考えも視野に入れています。(建設水道課)

しています。

災害がより広範囲に渡る等多人数が避難しなければならぬ場合には、住民センター等が避難場所になりますが、今後、防災備品の配置を見直していきます。(総務企画課)

刈りの要望をしています。(建設水道課)

●道路除雪の直後に宅地内の雪を出している人がいるが、歩行者が迷惑しているのでどうにかならないのか。

A. 積雪前に広報のお知らせと併せて、市街地町内会長及び各班長に注意とお願いの文書を配布し、回覧をお願いしています。(建設水道課)



行政のこと

災害対策について

●冠水被害を受けたが、補

●5年前から被害が続いているので、被害が出ないよう早急に復旧を行ってほしい。国・道の管轄でも土盛りくらいはできるのでは。対応に不公平を感じる。町の責任逃れではないか。

A. 数箇所に渡り過去にも被害がありました。管轄が国のため国が道に移管しなければ、工事ができないのが実情です。国・道に対し速やかに移管手続きをするように要望します。道に対し河床の堆積した土砂を除去するように要望します。要望だけでなく、

●12線の河川(ヨシカシユッペ川)の改修を要望したが、どうなったのか。

A. 河川管理者である道に、護岸ブロック改修を要望しています。(建設水道課)

●災害時の避難場所として、住民センターの機能は不足しているのでは。

A. 局地的な災害による避難場所としては、設備が充実したサンホールはびねすを避難場所として指定

暮らしのこと

●環境美化の活動をしているが、道の歩道の草刈りをしてほしい。

A. 旭川建設管理部で年1回、防除や草刈りをしていますし、引き続き道路管理者である北海道に、草



●除雪の不備により住民センターの縁石破損がある。事前確認をお願いしたい。

A. スノーポールを立てる前に、除雪委託業者と現地確認を行います。(建設水道課)

●北斗地区住民センターの女性用トイレのスペースが狭い。洗浄機能の設置も含め改善を要望しているが、

どうなったのか。旧保育所側のトイレを改良する等の対策を要望する。

A. 平成28年度以降、順次対応を予定しています。(教育課)

農業振興について

●鷹栖町の農地を誰がどのように担っていくのか。家族農業なのか法人なのか。またどんな作物をどのように作付するのか。振興計画やガイドラインを示しているかなければならないと思うが、どう考えているのか。

A. 農業ビジョンにおいても、今後の農地の保全(ゾーニングを含む)の検討をしています。基本的に農地は農地として将来的に

も維持していかなければならぬと考えています。(産業振興課)

●栽培法を工夫している農家も多々ある。その栽培法を本手にトマト、キュウリ農家の活性化を図ってはどうか。

A. 野菜・花きの普及を進めるために、町の補助事業や地域農業推進会議の広域事業を実施してきてい

ます。今後は、事業の周知・PRを今以上に、農業関係機関とも定期的に意見交換を行っていきま



●少子高齢化と共に後継者問題がある。人口増につながる手段や工夫は。

A. 農業ビジョンの重点事項でもある「担い手育成・確保」の中で、既存の新規就農者確保事業をベースに、1ターン・2ターンなど農業を目指す若者を中心に呼び込むかの具体的事業を検討していきます。(産業振興課)

●就農希望者への農業研修プランが不明確である。具体的には、研修センターの指導体制、農業研修体制、農業研修内容が未整備で、受入側に任せっぱなしである。さらに、行政・農協・受入側の相互連携も見られない。

A. 農業ビジョンの重点事項でもある「担い手育成・確保」の中で、受入体制の見直しや研修の拠点の

必要性などを検討していきます。(産業振興課)

四季の里について

●四季の里でのトマトジュース作りの回数制限されているが、回数を多くできないか。

A. 現状は利用者の公平性を考慮したうえで、4回までとしているのでご理解願います。(産業振興課)

鳥獣被害対策は

●熊2頭が農地に出没している、対策してほしい。

A. 熊用檻の増設も含め、対応の強化を考えます。(産業振興課)

あまり分別されずにきたため、管理型最終処分場が予定よりも早く満杯になる恐れが出てきているが、議会ではどう考えるか。

A. 9月の第3回定例会において町長に一般質問し、『10月から燃やせないごみを有料化し、これを機に町民と事業者の環境意識を更に高め、3Rの徹底でごみの排出抑制を図っていきます。今後は広域連携を含めた本格的な検討が必要であり、方向性を検討するよう担当部署に指示しています。』との答弁がありました。(議会・町民課)

●スプレー缶の処理について、個人に穴あけをさせるのではなく、事故が起きないようにそのまま回収してもらいたい。

A. スプレー缶は屋外で穴あけし、空き缶専用袋

ごみの問題

●黄色い袋のごみが今まで

に入れて出してもらおうことを基本としますが、11月からハプレー缶の穴あけが難しい方は、半透明袋に氏名と【キケン】と記載してごみステーションに出していただければ回収していただけます。また、ガス抜きされていないライター・かみそりも同様にしていただければ回収いたします。（町民課）



身近な問題にこそ 予算を

●鷹栖町で孤独死を出さないように民生委員や福祉委員を中心にリストを作っ

て、見守り活動をするために予算を要求したが、町から形として見えるものにお金を使っていたらだいたい言われた。切実で身近な問題こそ重要で、そこに予算をもっと使ってほしい。

A. 民生委員や福祉委員、また老人会の友愛活動を通じて見守りを充実するとともに、同意書を得た方を町内会との連携で見守る体制を検討しています。

また、困りごとなどは生活福祉相談センターでお伺いしますので、お気軽にはひねすまでお越しくください。（健康福祉課）

●廃屋を処理する費用を考

えてもらえないか。
A. 国は、今年度から危険な空き家などに対して制度化し、整理するよう進めており、町でも調査を行ってまいります。できるだけ

使用できるうちに転売や賃貸などの方法により、健全な状態で維持できることが理想と考え、空き家バンクの強化に取り組みます。（総務企画課）

たかすの魅力は？

●観光スポットが見当たらないが、どう対応しているか。

A. パークゴルフ場、ゴルフ場及びパレットヒルズ以外の大きな観光施設はありませんが、各種イベントの開催等により、観光スポットとしてもPRしていきます。また、民間事業者でも農業体験や自然体験を実施しています。



●鷹栖の観光は他町と比べ少ないのではないかと。少ない観光資源にどうやってお金をかけていくのか考えていかなければならない。

句碑の森は入れない状態。今進めているパークゴルフ場にはお金をかけているが、出来上がった所はそのままなのか。今あるものを大事にすることも必要では。句碑の森は管理する人がいなくなったら潰れるのか。

パレットヒルズの枯れた木はそのままなのか。パレットヒルズは素晴らしくなりそうなので、ぜひ続けてほしいがそのための手立てを考えてほしい。

A. 鷹栖町にしかない丸山句碑の森の魅力をしっかりPRして、観光につなげていきたいと考えています。

また、丸山句碑の森と古

民家を改修した伝承館といたった組み合わせなど、俳句の愛好者に来ていただくような環境もありますので、観光事業としての考え方も検討したいです。今後、丸山句碑の森実行委員会や教育委員会と連携し、丸山句碑の森自然会、俳句愛好者の方たちの協力も得ながら活用方法を考え、整備等も進めていきたいと考えています。

今年度より、パレットヒルズの整備工事を行っているので、枯れ木についても順次植え替えを進めます。（総務企画課）

●「鷹栖町と言えばこれだ」と評価されるものを、若い人たちの発想を取り入れてできないか。

A. 鷹栖町地方総合戦略策定会議においても、若

い方々に策定委員になっていただき、今後のまちづくりに関して色々なご意見をいただきました。今後も若い方の発想や考え方も取り入れた中でまちづくりを進めていきたいと考えます。
(総務企画課)

●パレットヒルズの桜の管理はどうしているか。

A. 毎年、記念植樹や寄贈された桜を中心に植木屋者と相談しながら順次植え替えを行っています。
(総務企画課)

観光分野にも力を

●町の観光マップを全戸配布して町民にPRしてはどうか。

A. 現在、広報やホームページ以外にもフェイスブックを活用し、情報発信をしています。今後も、町

民の皆さんに幅広く情報を伝えられるよう、情報発信の方法を工夫します。
(総務企画課)

●町に外国人観光客は年間何人くらい来ているのか。

A. 平成26年度の実績は、犬ぞりで約300人、山恵で約40人となっています。
(産業振興課)

福祉について

●高齢者への虐待が全国に散見しているが、本町はどうなのか。

A. 高齢者への虐待の報告はありません。虐待にはその背景に様々な要因があると考えられます。困りごとなどがあれば地域包括支援センターまでご相談ください。
(健康福祉課)

●「福祉のまち」として専

門学校を誘致できないか。

A. 専門学校の計画はありません。
(健康福祉課)

メロディーホール本来の使い道は？

●メロディーホールの本来の目的であるコンサート活動が少ないのではないか。

A. メロディーホール企画委員の意見を確認しながら自主文化事業の演目を考えています。なお、平成27年度からは、いきいきステージ創作推進事業で、たかす吹奏楽フェスティバルや鷹栖町民第九コンサートを実施しています。
(教育課)

サービス付き高齢者住宅その後…

●北野警察団地跡地にサー

ビス付き高齢者住宅を建設することになったのだが、その後どうなったのか。

A. サービス付き高齢者住宅を平成28年度に着工できるよう補助金の活用を含め、鷹栖さつき会と協議しています。
(総務企画課)

鷹栖と北野

●なぜ鷹栖町は、鷹栖地区と北野地区の2つに分かれているのか。はっきりと意識が違う。少年野球も7500人くらいの町なのに少年団が二つある。指導者などの意識も違う。色々なところに意識の違いが出ていると感じている。

歴史的なものがありにくい、知恵を出しながらどうやって一緒にやっていくか考えていかなければならない。

A. 親、祖父母の時代、入植当初からの話で、もともとは水の話から始まっていると聞いたことがあります。二つあることで不合理なことも多いが、一歩を踏み込めないというのが現状です。

今までも何とか一つにしようという動きはありましたが、お互いに妥協できなかった経緯があります。次の代には何とかなると良いと思っています。

鷹栖地区と北野地区が一緒にになり、ライスセンターで「鷹栖町産米」を作るようになっていきます。野球はなかなか一緒に出来ないが、クロカンなどは合同ですし、中学に入れば一緒に活動しています。
(会場での回答)

防犯について

●中学生も全然挨拶をしなくなつた。知らない人に声をかけられたら無視するように学校で指導されたと言ふ。

しかし、挨拶が少ない地域は変質者が多いが、挨拶ができる地域は皆で見守っている。

最近の教育は間違っていると思う。皆で挨拶ができる町にしたい。

A. 町内の学校では、思いやりの心をもって進んで挨拶ができるよう取り組んでいます。

しかし、不審者などが出没し児童に近づき色々なことを聞かれる場合も想定されます。子ども自ら「自分で身を守る」ことを意識し、身に付けることが必要であると思います。

今後とも住民や地域の皆

さんと共に安心できる生活環境を推進します。(教育課)

●テレビ報道などから、小学生の通学時の安全に不安を覚えることがある。安全な通学体制を保つてほしい。

A. 防犯活動については、青色防犯パトロールによる町内のパトロールや北野東町内防犯委員会によるパトロール、スクールガードリーダーによる登下校時の警戒監視を行っており、SOS子ども一〇番避難連絡所を設置し、子どもが危険を感じた時に逃げ込める住宅を表示しています。また、スクールバスは夜間等の状況により、自宅前まで送り、子ども達が安心して通学できるよう努めております。



鷹栖地区住民センターの改修は

●平成29年建て替えのこのだが、進行状況は。

A. 基本設計を作成する業者が確定した段階です。これから、住民センター協議会等と協議を行いながら、基本設計案を作成します。

案に基づき皆様への説明会を開催し、基本設計の作成を行う計画です。(教育課)

●どんな形で要望を聞いているのか。

A. 協議会や公民館運営委員会、定期利用サークルなどからの意見を伺っています。(教育課)

●どこに要望を出せばいいのか。

A. 町長への手紙のほか、近くの議員に伝えてもらうか、教育委員会教育課へ伝えてください。(教育課)

●視聴覚資料は。

A. 視聴覚資料の整備は予定していません。まずは、本の充実を図ります。(教育課)

●町民への説明会はあるのか。

A. 基本設計の素案が見えた段階で説明を行う予定です。(教育課)

鷹栖の人口減少について

●鷹栖村のときから住んでいるが、鷹栖をどういう風にするということに関して昔はすごい意見が出た。いま静かなのはうまくいっているからなのか。

人口は今後どうしたいのか。

A. 人口減少は、国全体の大きな課題であるものの、極力今の状態を維持することが重要と考えています。

単純に増加するだけではなく、年齢層がバランスの取れた形で維持できるように、住みやすい町づくりを進めたいと考えています。(総務企画課)

次回出席するとしたら、どのようなことを希望されますか。

一人でも多く出席されることを希望します。

現行でいいと思います。

農業に関すること、将来像について。

住民からの意見・要望はさることながら、議会から地域に意見を求めるテーマも必要か。

今後の高齢者対策について

今度は質問意見を前もって出したいと思います。

町の将来など。

オオカミの桃かタカス米かホンダのコースを観光の目玉にするのか!!

福祉と財政など（健康増進させ福祉予算を減らす等）

時期は今回と同様でよろしいと思います。できれば女性(婦人)が出席できるように日中開催もお願いします。

大きな問題、町としてその発展どうするの

ごみ処理について

今後の町づくりについて

地域を語ろう会に出席して感じたこと、議会に対して意見・提言等。

自由トークすぎて話しづらかったのではないかなと思う。何かテーマ別に話をぶつけてみたらいいのではないかな。

議会が身近に感じられていいと思います。

オオカミの桃の増産、改革へ向けてよろしくをお願いします。警団跡地のサービス付高齢者住宅利用一せひ早急にこういう会を開いていただけることはありがたい

グループ討議、テーマによる討議など今回は話し合いが活発であったと思う（少人数だったので）

若者（高校生～25歳くらい）との語ろう会を企画して意見を取り入れてほしい

出席人員が少ない。何とかしないと。

長めに話しすぎました。申し訳ありません。これからは気をつけます。まちづくり頑張ってください。

いつも地域のためにありがとうございます。大変ご苦労もあるとは思いますが、よろしくお願いします。

皆さまの出た意見を取り上げてほしいと思います

議員の信条、政治の考え方をもっと知りたい

3月の定例議会を傍聴した際、後列座席に風が吹き込み、驚かされた。改善が必要。

もっと話を聞く時間がほしかった。もの足りない。議員さんと話ができる機会を持てたのは良かった。

御礼のことば

鷹栖町議会の議会活性化の一環として、町民と語り合う機会とするべく「地域を語ろう会」を開催したところ、町民の皆様にはご多忙にもかかわらず、多数のご参加を賜り心よりお礼申し上げます。

さらには、皆さまより貴重なご意見・ご提言・地域の現状と課題をお聞かせ頂き誠にありがとうございました。これからは、いただいた課題について調査研究を進めます。また、次の開催に向けて開催方法や内容についても改善し検討を進めていく所存です。

なお、当日各会場で実施したアンケートにおいても、議会および行政に対して貴重なご意見・ご提言を多数いただき、皆さまのご協力に深く感謝いたします。

今後も、議会の機能向上・情報公開をはじめ、より開かれた信頼される議会を目指して、議会改革と活性化に取り組んでまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げお礼のご挨拶と致します。

鷹栖町議会議長 新 田 健 一

あしがき

平成27年度は、夏の終わりに開催することになり、出席しづらい面もあったかもしれませんが、皆様からはいろいろなご意見をいただき有難うございました。

議員の役割とは何でしょうか。皆さんの意見や要望をよく聞き、自らも住民の一人としてよく考え、それらを調整しつつ一つの意見としてまとめ、それを議会という議論の広場で討議を重ねるといえることでしょうか。その広場では、議論をするということは、相手の

議論の中に新たな見識を見出すことであり、その発見を通じてより良い政策が決められていくための政策立案者であり、監査役であり、報告者である、というのは少々かっこよすぎるでしょうか。少しでもその理想に近づけるようこの報告書を届けさせていただきます。

鷹栖町議会活性化委員会
委員長 中 家 彰

中央（8月24日）



北成（8月26日）



北斗（8月28日）

